

CORPORATE  
PROFILE

株式会社 味匠

本社：坂出市常盤町1-7-8  
☎0877-44-2222

関連企業：  
株式会社坂出グランドホテル  
株式会社アリオ  
株式会社アトラス  
株式会社味匠ホールディング

1988年設立。味匠グループとして県内を拠点に「おいしい広場」プロデュースなどの外食事業、「プレイパークゴールドタワー」としてのアミューズメント事業をはじめ、ホテル・ブライダル事業も手がける。また、本社工場では従来の仕出し料理の枠を超え、配膳からサービス、演出、撤去に至るまで一貫してサポートする「お届け料理センター」としての評価も高い。現在では、地元のサヌカイトを利用した温浴事業「癒しの里さらい」が注目されている。



# 神 久 雪

PROFILE

さかき ひさゆき  
株式会社味匠の設立者で代表取締役社長。香川大学経済学部の第1期卒業生として経済学部・法学部の同窓会「又信会」会長である。また、6つの同窓会すべてを連携した香川大学同窓会連合会の設立に向け設立発起人代表として準備を進めており、今年7月の設立後は初代会長となる。



坂出市にオープンした「癒しの里さらい」。新しい事業へのチャレンジは続きます。

香川大学第1回学生祭企画委員長で初の同好会設立者。しかも学生結婚（！）。卒業後は全国初の交通安全都市宣言提案に全国初の踏切信号提案、さらにはNHK高松放送局のTV局設立推進、瀬戸内海放送設立…と、手抜きなしてやり遂げてきた榊さんの人生に触れてみました。

**昭** 和24年、香川大学の記念すべき第1期生だった榊久雪さん。電車通ならぬ汽車通だった学生時代は、菊池寛ばりの「本の主」。それは、戦時中の学徒動員制度で学業がままならない時代を経験し、校内に残ったわずかな設備のひとつが書庫だったこともあり。復興未だしの当時、歩けばきしむ板張りの校舎で勉学に励みながら、学生祭（現在の学祭）や同好会活動を通して友人との交流を深めたとか。「先生には、アイツは学生会活動ばかりやってて大丈夫か？ いうて心配されて。でも、単位は2・3回生で殆んど全部取っちゃいましたよ（笑）」。榊さんは、何事にも没頭する性格。単位取得後は現在の奥様と学生結婚をし、卒業時にはすでにパパとなっていたツワモノです。

家族と一緒に…。そんな想いから卒業後は飲食店を営んでいた実家を継ぎ、味匠のベースとも言える支店もオープン。一方で、今年50周年を迎える坂出青年会議所の創始者となり、地元・聖通寺山に梅の木を植えるなど地域奉仕にも率先して取り組みました。

「この時も農学部の前先生を迎えて地質調査をしてね。母校との縁は卒業後も続いていました」。桜の名所でもあるこの山、実は榊さんがきっかけだったんですね。さらには交通安全都市宣言を全国で初めて提唱し、今では当たり前にある踏切信号（ご本人命名、ノンストップ踏切！）を発案・推進するなど、それからの活動には目を見張るものが。NHK高松放送局TV局や瀬戸内海放送の設立も、他ならぬ榊さんが携わっているんです。「周りからは職業ボランティアと言われてね（笑）。それでも、有り難いことに皆が協力してくれた」と、懐かしそうに当時を振り返ります。

そんな周囲の支えに応えるべく、「又信会」をはじめ数々の世話役にも一切手抜きしないのが信条に。有言実行に加え即断即行、まるで速達便のような勢いに「人生手っ取り早く！」と笑う榊さんですが、「今しかできない事に一生懸命だった学生時代があったこそなのでしょう。だって、順風満帆に見える人生にも、商業学校を、繰り上げ卒業を4年生で、終戦で5年生に、そして新制高校3年生、と同じ学校を3度卒業したり、昇り龍の真っ只中にも膨大な借金を背負ったこともあったんですから…。「禍福はあざなえの縄のごとし、と言うでしょ。いい事と悪い事は互い違いにやって来るんですよ」。あつけらかんとした笑顔の奥にあるのは信念と行動力。そして、家族や友人、地域への愛情。それはそのまま、味匠の手がけるすべての事業に通じています。

何事にも一切手抜きなし。  
即断即行が、私の人生。



FACILITIES  
PROFILE

香川大学  
医学部附属病院

昭和58年4月1日設置。  
良質で安全な医療を提供する  
とともに、医学の教育研究を推  
進し、医療の発展に寄与する  
ことを目的とした医療機関。

**数** 多くの診療科を持つ香川大学  
医学部附属病院。それぞれに  
医師がスタンバイし、患者さんのため  
の治療が日々行われています。です  
が、ここにもひとつ。患者さんのため  
になくてはならない、重要な機関があ  
るんです。それが、患者サービス課。  
入院費や投与に使われた薬代の支払  
い、医療保険の相談など、すべての患  
者さんが最後に門を叩くところ。いわ  
ゆる医療事務を担当しているのが、河  
地良一さんです。

スクワークに費やしています。そんな  
河地さんですが、出身は甲子園の常連  
校。河地さん自身も、3度の甲子園出  
場を経験している実力派なんです。  
「子どもの頃から野球少年。企業に就  
職してからも硬式野球を続けていまし  
た。でも元々腰が悪く、続けるのが困  
難になってしまってた」。本人にとつ  
ては悔しい選択になったはず。けれ  
ど、実はプロ野球団からの誘いもあつた  
ほどの腕前を生かし、後に高校野球決  
勝戦の解説者として熱き戦いをファン  
に伝えていきます。

元々が、真面目な性格。夢中になつ  
た野球はもちろん、お金に関わる現在  
の職場は小さなミスも許されない場所  
であるだけに、彼の性格に合っている  
のかもしれない。ですが、「お金つ  
て難しいでしょ。そうでなくても、不  
安を抱えてらっしゃる患者さんも多  
い。特に高額になれば不安も大きいと  
思うので、なるべく分かりやすく説明  
しています。それでも、やっぱり不服



大切なお金のことだから…  
きちんと業務をこなしていくんです。  
それが、私の使命です。

PROFILE

かわじ りょういち  
医学部附属病院  
患者サービス課事務職員



甲子園での熱投の記憶は、大切な青春の宝物です。大切な患者さんのため、正確で丁寧に取り組みます。



河地良